

行政評価シート(事後評価)

コード 7-1-10	事務事業名 コール田無管理運営	所管部課 生活環境部生活文化課
---------------	--------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	魅力あるまちづくりを推進するため、市民及び近隣市の人々との広域的な交流とふれあいの場として施設利用を行っている。また、建物の安全利用・衛生管理を図る観点から、施設の運営管理を行っている。	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	原則的に月曜日及び年末年始以外を施設開放し、公共予約システム、窓口受付を併用して施設利用申込を受け付けている。	
事業開始時期	11 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
事業費(A)		54,936	49,889	54,437	61,654
財源: 国庫支出金・都支出金					
財源: 地方債	千円				
財源: 内: その他 (施設等使用料)		11,090	9,495	9,943	9,439
財源: 内: 一般財源		43,846	40,394	44,494	52,215
所要人員(B)	人	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,185	8,161	8,161	8,161
臨時職員等賃金(C')	千円	3,350	3,468	3,619	3,619
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	66,471	61,518	66,217	73,434
単位当たりコスト (E)=(D)/(開放日数(ホール))	千円	217	206	217	#DIV/0!

活動等指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
開放日数(ホール) 実績値	日	306	299	305	
開放日数(ホール以外) 実績値	日	309	309	308	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 市民の利用に供する施設として、施設の開放日数を指標とする。					
成果指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
一 利用件数(ホール) 実績値	件	594	589	633	
次 利用件数(ホール以外) 実績値	件	3,130	2,816	2,875	
二 管理運営 目標値					
次 管理運営 実績値					
(指標の説明・数値変化の理由 など) どの程度の市民に利用されているか、統計資料から算出した。また、利用を通して市民団体の活動の育成、質の向上、拡がり等がなされたかが重要となる。管理運営面では手続きの簡素化、利用しやすさ(サービスの向上)が図られているかが視点となる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 コール田無では会場提供業務を行っているため、事業執行している施設との比較は難しい。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 各集会所・市民会館・こもれびホール・公民館等がある。

コード 7-1-10	事務事業名 コール田無管理運営	所管部課 生活環境部生活文化課
---------------	--------------------	--------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	オープンしてから10年が経つ。施設及び物品の老朽化が目立つ。今後、財政面との調整が必要と思われる。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	施設の運営については、費用対効果の検証をする中で、他の施設と一体的な委託化等も視野に入れた見直しを検討すべきである。 また、使用料については平成20年度に見直しを行ったところであるが、今後も継続的な見直しによる受益者負担の適正化を図られたい。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	二次評価の指摘を踏まえ、市内及び他市における文化施設の設置状況、当該会館の利用実態等を検証し、費用対効果や受益者負担の適正化の観点から将来のあり方について検討する必要がある。